

#### 資料 2

# 令和5年度 下野市デマンド交通「おでかけ号」 運行実績



#### (1) デマンド交通「おでかけ号」の概要



- ◆おでかけ号は、下野市の公共交通空白地域を解消するために、平成23年11月から運行を 行っている乗り合い交通です。
- ◆予約に応じて利用者の希望する場所までお迎えに行き、各利用者の目的地まで運行する 「ドア・トゥ・ドア型」の運行を行っています。
- ◆令和3年4月から、A I (人工知能)を活用した配車システムを導入し運行形態の変更を 行い、令和4年4月からは上三川町と壬生町との相互利用を開始しました。
- ◆令和5年4月からはベビーカー、シルバーカー、車いすを予約したうえで持ち込み可能と しました。



### (2) デマンド交通「おでかけ号」の運行概要



運行区域	下野市全域 (令和3年4月から石橋・国分寺・南河内の3エリア区分を撤廃)		
運行日	月曜から土曜日 ※祝日及び振替休日、年末年始を除く 午前8時 ~ 午後6時		
運行本数	AI配車システムによるリアルタイム運行		
運賃	大人300円・小学生200円・未就学児無料		
運行車両	5人乗り車両4台(予約状況に応じ3~5台で運行)		
利用方法	<ul><li>① 利用登録 利用登録書を市安全安心課にFAXまたは窓口で提出 メールや電話での登録申請も可能</li><li>②利用予約 予約センターに電話かWEBサイトにより予約</li></ul>		



## (3) デマンド交通「おでかけ号」の利便性向上の取り組み



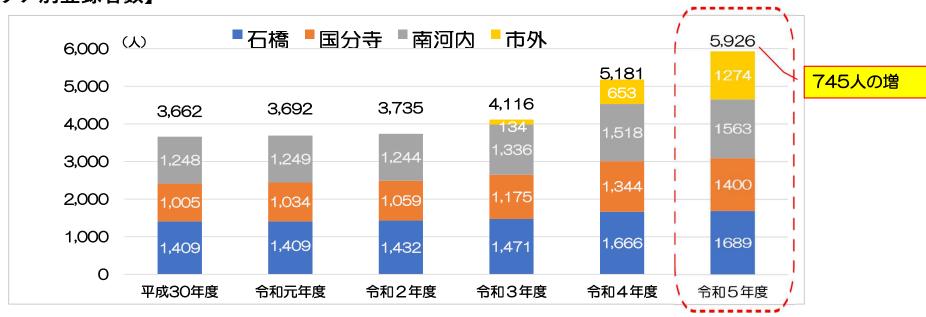
時期	取り組み	内容
平成23年11月	「おでかけ号」運行開始	
平成25年4月	運転免許自主返納者支援事業創設	返納者にデマンド交通回数券等(6,000円分)交付
平成26年4月	乗継料金廃止	
平成26年5月	高齢者外出支援事業創設	75歳以上を対象に1人あたり年間10回分のデマンド交通回数券を交付
平成26年4月	子育て世帯外出支援事業創設	未就学児のいる世帯に1世帯あたり年間10回分のデマンド交通回数券を 交付(R5年度で終了)
令和3年4月	県内初AIデマンド配車システムの導入 運行形態の変更	運行エリアを市内全域とし乗継ぎを廃止 車両のダウンサイジング(10人乗ワゴン車→5人乗り車両) 車両台数の見直し(3台→4~5台)
令和3年10月	上三川町・壬生町との相互利用 開始	試験運行 令和3年10月~令和4年3月
令和4年4月	相互利用の本格運行の開始	
令和5年4月	シルバーカー・ベビーカー・車いすの持ち込 みを可能とする	原則、自分で積み降ろしが条件。予約時に申し出ること。 大きさ:高さ90cm、幅54cm、奥行40cmまでのもの1台
令和5年6月	キャンセルの自動音声対応 開始	実証実験 令和5年6月~令和6年3月(終了)



#### (4) デマンド交通登録状況



#### 【エリア別登録者数】



#### 【新規登録者数】

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
新規登録者数	526	367	163	602	1,108	1,037



- ●登録者は、令和6年3月31日現在、5,926人です。令和4年度より745人増加し、 特に市外の方の登録が大幅に増加しました。
- ●新規登録者1,037人のうち616人が市外の方です。

#### ①利用者数の推移



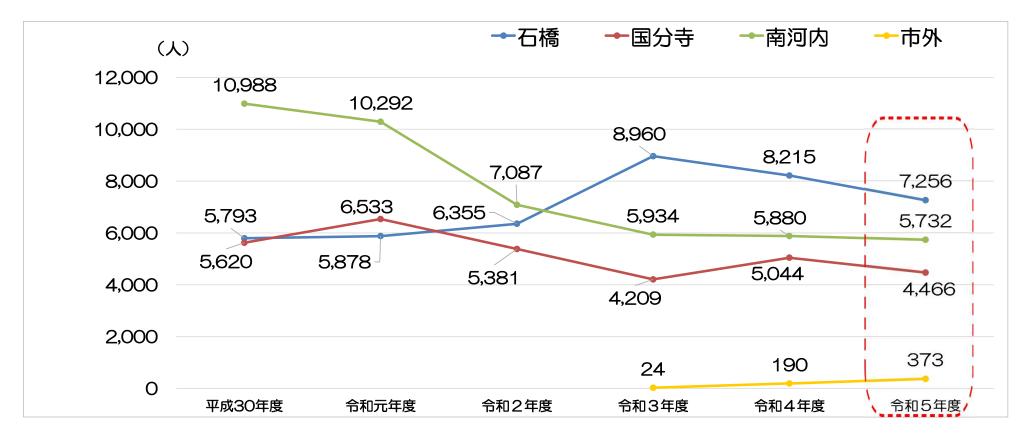




●利用者は令和4年度に比べ1,502人の減となりました。

#### ②エリア別利用者数の推移



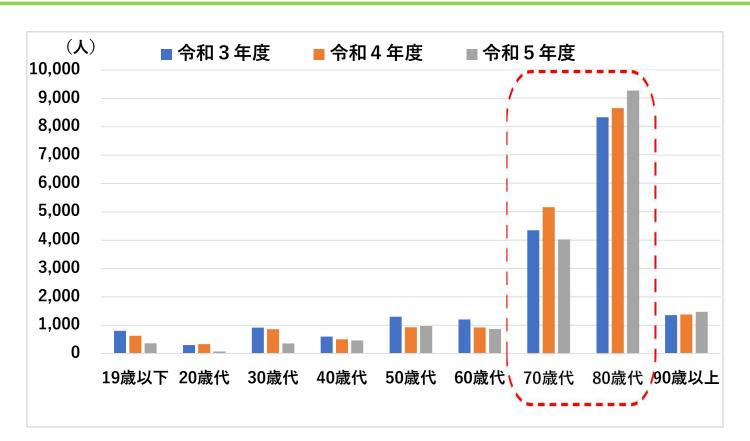




●市内の利用者は減少しましたが、市外の利用者は増加しています。

#### ③年齢別利用数の推移





単位	•	Y
丰皿	•	$\sim$

年齢	利用者数
0~9歳	25
10歳代	335
20歳代	71
30歳代	354
40歳代	462
50歳代	969
60歳代	861
70歳代	4,020
80歳代	9,260
90歳以上	1,470
計	17,827



▶70歳以上の利用者が14,750人で全体の82.7%を占めています。

**】最も利用が多いのは80歳代の9,260人で令和4年度の8,648人より612人増加しています。** 

0~40歳代の利用者は、年々減少傾向にあります。

#### ④曜日別利用者数の推移





【1日平均利用者数】

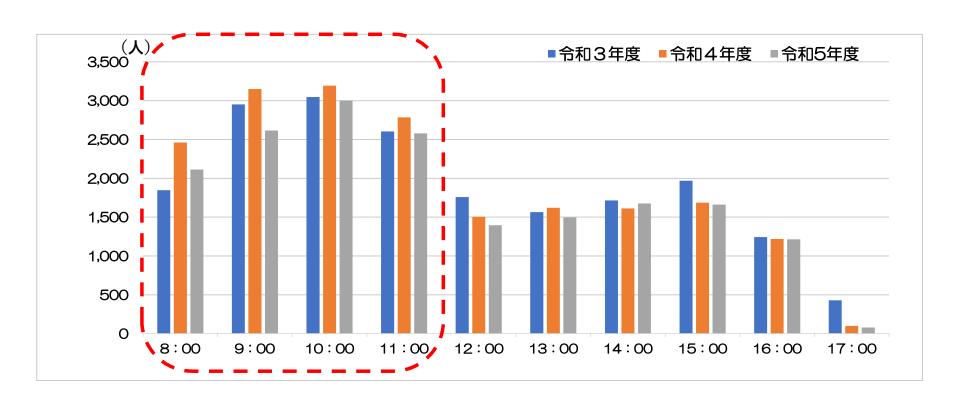
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
月曜日	68	69	66
火曜日	72	73	69
水曜日	69	65	60
木曜日	63	69	60
金曜日	74	76	68
土曜日	45	43	42
全体	65	66	61



●土曜日は、月~金曜日に比べ利用者が少なくなっています。

#### ⑤時間帯別利用者数の推移



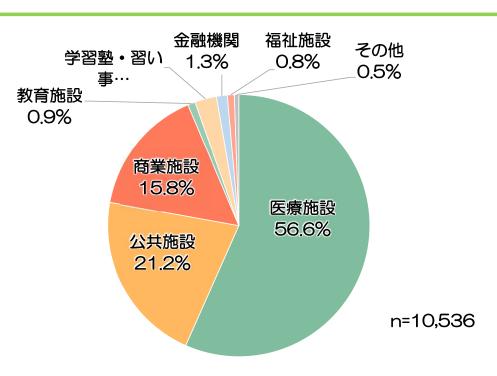




●令和5年度も例年同様、午前8時から午前11時台の利用者が多くなっていますが、 利用者は令和4年度より減少しています。

#### 6令和5年度降車場所 (自宅を除く)





降車場所 上位10カ	が所	利用人数(人)
石橋総合病院	医療施設	1,112
自治医科大学附属病院	医療施設	827
小金井中央病院	医療施設	417
きらら館	<mark>公共施設</mark>	351
下野市役所	公共施設	331
ヨークベニマル石橋店	<mark>商業施設</mark>	303
ゆうゆう館	公共施設	280
石橋駅	公共施設	269
都丸整形外科	医療施設	268
国分寺さくらクリニック	医療施設	259

- ●降車場所は医療施設が半数以上で、次いで公共施設、商業施設の順となっています。
- ●医療施設は「石橋総合病院」、「自治医科大学附属病院」、「小金井中央病院」など市内の 基幹的な病院が上位を占めています。
- 「きらら館」や「ゆうゆう館」は定期的な利用をしている方が多いことが要因となっています。



#### (5) デマンド交通利用状況 ⑦委託料・運賃収入の推移

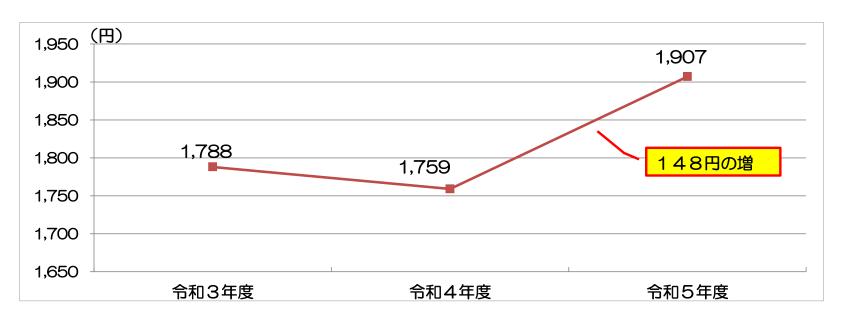






# ⑧運行経費の推移(1人あたり)





運行経費(1人当たり)

委託料 (P11参照) 利用者数(P5参照)



●利用者が減少したことにより、運行経費が増加しました。